



# 株主のみなさまへ

第117期 中間報告書

平成30年4月1日～平成30年9月30日



子どもたちに誇れるしごとを。

SHIMIZU CORPORATION  
**清水建設**

## 目次

(頁)	
1	株主のみなさまへ
	<b>上半期事業状況</b>
2	決算ハイライト
3	事業の概況（連結及び当社単体）
	<b>経営方針／会社情報</b>
5	経営方針と重点施策
6	会社概況／株式の状況
	<b>財務諸表</b>
7	連結
9	当社単体
	<b>【ご参考】</b>
11	シミズのものづくり
13	トピックス
17	株主情報

# 株主のみなさまへ



会長 宮本 洋一



社長 井上 和幸

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。  
本年、日本国内で相次いで発生した自然災害により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。当社グループは、建設業の社会的使命として、引き続き被害の復旧に尽力してまいります。

ここに、第117期（平成30年4月1日から平成31年3月31日まで）上半期の、当社グループの業績及び事業活動の概況についてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなにとぞ相変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年12月

取締役会長 宮本 洋一

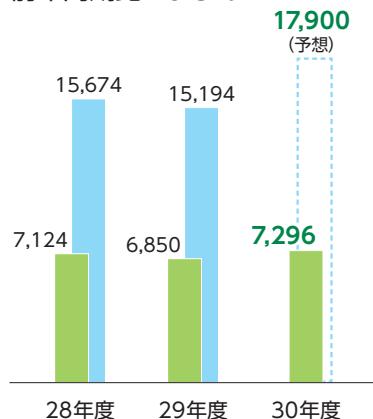
取締役社長 井上 和幸

# 決算ハイライト

## 連結売上高

**7,296**億円

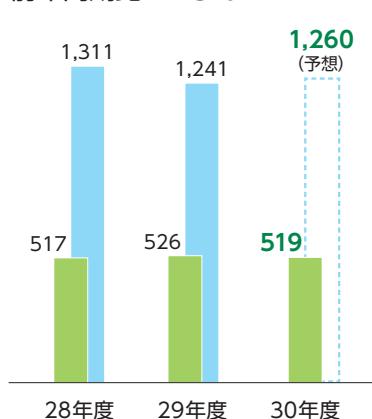
前年同期比+6.5%



## 連結経常利益

**519**億円

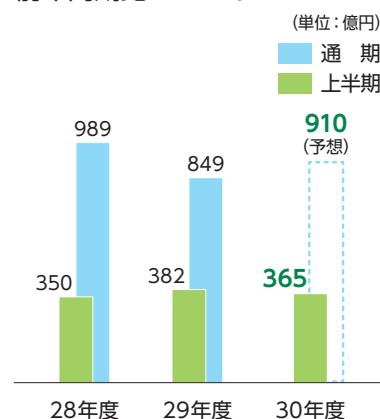
前年同期比△1.3%



## 連結当期純利益※

**365**億円

前年同期比△4.4%



(単位：億円)  
■ 通期  
■ 上半期

※連結損益計算書上の「親会社株主に帰属する当期純利益」

当上半期の日本経済は、企業収益や雇用・所得環境の着実な改善を背景に、設備投資は増加基調をたどり、個人消費も底堅さを維持するなど、緩やかな回復傾向が続きました。

建設業界においては、民間建設投資は製造業を中心として堅調に推移しましたが、官公庁工事で前年同期に大型案件の受注があった反動がみられ、業界全体の受注高は前年同期をやや下回る水準で推移しました。

当社グループの当上半期の売上高は、完成工事高の増加から、前年同期に比べ6.5%増加し7,296億円となりました。

利益については、完成工事高の増加により完成工事総利益は増加したものの、開発物件の売却利益の減少に伴い開発事業等総利益が減少したことなどから、経常利益は前年同期に比べ1.3%減少し519億円、当期純利益は4.4%減少し365億円となりました。

なお、中間配当金は、1株につき普通配当金7円に特別配当金6円を加えた13円といたしました。

また、連結有利子負債の残高は、前期末に比べ99億円減少し3,282億円となりました。

# 事業の概況 (連結及び当社単体)

## 連結

### 当上半期の事業別連結業績

売上高	<b>7,296</b> 億円	前年同期比 + 6.5%
うち 建設事業	<b>6,555</b> 億円	+ 9.0%
開発事業等	<b>741</b> 億円	△ 11.3%
売上総利益	<b>894</b> 億円	+ 1.5%
うち 建設事業	<b>804</b> 億円	+ 3.7%
開発事業等	<b>89</b> 億円	△ 14.7%
経常利益	<b>519</b> 億円	△ 1.3%
当期純利益	<b>365</b> 億円	△ 4.4%
有利子負債残高	<b>3,282</b> 億円	30年3月末比 △ 99億円

### 通期の連結業績見通し

売上高	<b>1兆7,900</b> 億円	前期比 + 17.8%
経常利益	<b>1,260</b> 億円	+ 1.5%
当期純利益	<b>910</b> 億円	+ 7.1%
有利子負債残高	<b>3,300</b> 億円以内	30年3月末比 △ 82億円

### 1株当たり配当金

中間配当金	期末配当金 (予定)	年間配当金 (予定)
<b>13</b> 円 (うち特別配当金 6円)	<b>13</b> 円 (うち特別配当金 6円)	<b>26</b> 円 (うち特別配当金 12円)

### ■建設事業

売上高は、前年同期に比べ9.0%増加し6,555億円となりました。利益については、売上高が増加したことから、3.7%増加し804億円となりました。

#### 主要な連結子会社

日本ファブテック(株) 第一設備工業(株)  
 (株)シミズ・ビルライフケア  
 シミズ・ノースアメリカLLC 清水建設(中国)有限公司

### ■開発事業等

売上高は、前年同期に比べ11.3%減少し741億円、利益は、開発物件の売却利益の減少に伴い14.7%減少し89億円となりました。

#### 主要な連結子会社

清水総合開発(株) (株)ミルックス (株)エスシー・マシーナリ  
 シミズ・ファイナンス(株) 多摩医療PFI(株)  
 シミズ・インベストメント(アジア)社  
 シミズ・インターナショナル・キャピタル(シンガポール)社

### ■通期の業績見通し

下半期の日本経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されますが、海外情勢の不確実性による景気変動の影響に留意する必要があります。

建設業界においては、労務需給のひっ迫や原材料価格の上昇が懸念されますが、公共投資は堅調に推移することが見込まれており、首都圏を中心に民間建設投資の動きも依然活発であるため、受注環境は底堅く推移するものと考えております。

このような状況のもと、平成30年度通期の連結業績は、売上高1兆7,900億円(前期比+17.8%)、経常利益1,260億円(前期比+1.5%)、当期純利益910億円(前期比+7.1%)を見込んでおります。

なお、期末配当金につきましては、1株につき普通配当金7円に特別配当金6円を加えた13円を予定しております。これにより、中間配当金を加えた年間配当金は、1株につき26円を予定しております。

また、連結有利子負債の期末残高は3,300億円以内(前期末比△82億円)を見込んでおります。

## 当社単体

### 当社単体の受注(契約)高

当上半期実績	6,018億円	前年同期比 △ 16.7%
通期見通し	1兆4,250億円	前期比 △ 5.3%

### 当上半期の事業別当社単体業績

売上高	6,145億円	前年同期比 + 7.9%
うち 建設事業	5,953億円	+ 10.9%
開発事業等	192億円	△ 41.8%
売上総利益	751億円	△ 1.1%
うち 建設事業	715億円	+ 5.0%
開発事業等	36億円	△ 53.3%
経常利益	498億円	△ 1.5%
当期純利益	364億円	△ 9.4%
有利子負債残高	2,366億円	30年3月末比 △ 91億円

### 通期の当社単体業績見通し

売上高	1兆5,150億円	前期比 + 20.0%
経常利益	1,150億円	+ 1.7%
当期純利益	850億円	+ 2.4%
有利子負債残高	2,300億円以内	30年3月末比 △ 158億円

### ■受注(契約)高

受注(契約)高は、前年同期に比べ16.7%減少し6,018億円となりました。その内訳は、建設事業95%、開発事業等5%です。

建設事業受注高は、前年同期に海外工事で大型工事の受注があった反動などにより、前年同期に比べ16.6%減少し5,718億円となりました。

また、開発事業等の契約高は、前年同期に比べ18.4%減少し300億円となりました。

### ■売上高

売上高については、前年同期に比べ7.9%増加し6,145億円となりました。その内訳は、建設事業97%、開発事業等3%です。

完成工事高は、前年同期に比べ10.9%増加し5,953億円となりました。

また、開発事業等売上高は、前年同期に大型開発物件を売上計上したことの反動などにより、前年同期に比べ41.8%減少し192億円となりました。

### ■利益

利益については、完成工事高の増加により完成工事総利益は増加したものの、開発事業等総利益の減少などから、経常利益は前年同期に比べ1.5%減少し498億円、純利益は364億円となりました。

なお、有利子負債の残高は、前期末に比べ91億円減少し2,366億円となりました。

### 主な受注工事

建築工事	新橋田村町地区市街地再開発組合	新橋田村町地区市街地再開発事業 新築工事
	東芝メモリ株式会社	東芝メモリ岩手株式会社 510棟 (CR棟) 新築建築工事
	株式会社千葉銀行	千葉銀行本部棟建替え計画
	特定目的会社湘南辻堂インベストメント	(仮称) 松戸北部市場開発プロジェクト
土木工事	環境省	平成30年度中間貯蔵(大熊4工区) 土壌貯蔵施設等工事

### 主な完成工事

建築工事	ファナック株式会社	ファナック(株)筑波第1ロボット工場建設工事
	シンガポール共和国政府	チャンギ総合病院メディカルセンター新築工事
	埼玉県	熊谷ラグビー場新スタンドほか建設工事
土木工事	東日本高速道路株式会社	上信越自動車道 信濃妙高工事
	国土交通省	国道115号 塩手山トンネル工事

# 経営方針と重点施策

当社グループは、毎期「経営3ヶ年計画」をローリング方式で策定し、グループ全体の収益力の向上に努めています。

## 経営3ヶ年計画(要旨)

### 経営方針

環境変化に迅速・果敢に対応し、建設事業の進化と新たな収益基盤の創出を推進するとともに、SDGs※1・ESG※2の観点を活かした経営基盤の強化と働き方改革を図り、シミズグループの持続的成長を実現する。

### 重点施策

#### 1. 品質・安全・工程管理の徹底及び生産性向上による収益力強化

- ・品質・安全管理体制の徹底による誠実なものづくり
- ・確実な生産体制の構築及び生産技術開発による生産性向上
- ・戦略的な営業活動の推進による事業競争力の強化

#### 2. 社会・顧客に新たな価値を提供する事業の構築

- ・関係部門一体となったグローバル事業の推進
- ・ストックマネジメント事業の積極的推進
- ・サステナビリティ分野における事業化の推進
- ・将来に向けた戦略的な投資、新規事業創出

#### 3. コンプライアンス徹底と働き方改革の推進

- ・倫理・法令違反による不祥事の撲滅に向けた施策の実践
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現

#### 4. ESGの観点による企業価値の向上

- ・実効あるコーポレートガバナンスの推進
- ・ダイバーシティ経営の着実な推進
- ・「攻め」と「守り」の環境経営の推進
- ・事業活動と連動したCSR活動の推進

#### 5. 自然災害等への対応力強化による安全・安心社会の実現

- ・地震などの自然災害等に対するBCP対策の推進
- ・インフラや施設の安全安心技術の開発推進

※1 SDGs:Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略。2015年の国連総会で採択された2030年までの国際社会の共通目標で、貧困撲滅、エネルギー確保、気候変動対策など17目標が掲げられている。

※2 ESG:環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字をとったもの。ESGに配慮する企業は長期的に見て成長可能性が高いと考えるESG投資が、機関投資家の間で広がってきている。

平成30年度を初年度とする「経営3ヶ年計画」では、国内建設事業を主な収益源の柱に据え、新たな事業領域にも経営基盤を確立していくための施策を打ち出す内容としております。

以上のような取組みを通じ、コーポレートメッセージ「子どもたちに誇れるしごとを。」に込めた想いを、役員・従業員全員が日常の諸活動の中で実践し、シミズグループ・トータルでの企業価値の向上を図っていく所存です。



基礎免震構造の採用や、防災用倉庫・非常用発電機等の設置によりBCP機能の強化が図られている「千葉銀行本部棟建替え計画」



非日系企業発注の案件にも挑戦意欲を持って取り組む(上図はシンガポールの「UOLパンパシフィック オーチャードホテル」)

# 会社概況／株式の状況

(平成30年9月30日現在)

創 業 文化元年(1804年)  
 資本金 743億円  
 売上高 1兆2,625億円(平成30年3月期 単体)  
 代表者 取締役社長 井上 和幸  
 従業員数 10,141名(単体)

## ■主要な営業所等

本 店 東京都中央区京橋二丁目16番1号  
 北 海 道 支 店(札幌市) 東 北 支 店(仙台市)  
 北 陸 支 店(金沢市) 関 東 支 店(さいたま市)  
 東 京 支 店(東京都中央区) 横 浜 支 店(横浜市)  
 千 葉 支 店(千葉市) 名 古 屋 支 店(名古屋市)  
 関 西 支 店(大阪市) 神 戸 支 店(神戸市)  
 四 国 支 店(高松市) 広 島 支 店(広島市)  
 九 州 支 店(福岡市) 土 木 東 京 支 店(東京都中央区)  
 国 際 支 店(シンガポール) 投 資 開 発 本 部(東京都中央区)  
 エンジニアリング事業本部 L C V 事 業 本 部(東京都中央区)  
 (東京都中央区) 技 術 研 究 所(東京都江東区)

## ■海外営業網

大 連	ホーチミン	ダッカ	ヴロツワフ
上 海	バンコク	バンガロール	プラハ
広 州	ビエンチャン	グルガオン	ロンドン
香 港	ヤンゴン	タシセント	ニューヨーク
台 北	クアラルンプール	ドバイ	アトランタ
マニラ	シンガポール	イスタンブール	ケレタロ
ハノイ	ジャカルタ	ルサカ	

## ■株式の状況

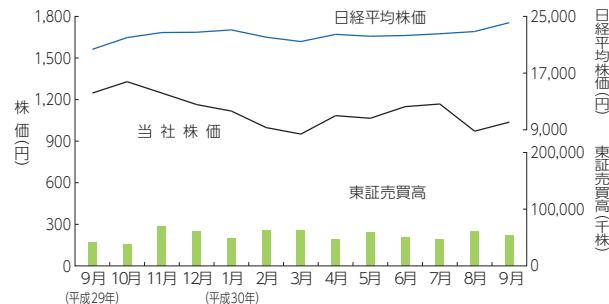
発行可能株式総数 1,500,000,000株  
 発行済株式の総数 788,514,613株  
 株主数 53,013名

## ■大株主の状況

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
清水地所株式会社	61,130	7.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	56,113	7.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	39,546	5.0
社会福祉法人清水基金	38,595	4.9
一般財団法人住総研	17,420	2.2
株式会社みずほ銀行	16,197	2.1
清水建設持株会	16,080	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	13,360	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	12,458	1.6
第一生命保険株式会社	10,564	1.3

※持株比率は、自己株式(2,623千株)を控除して計算しております。

## ■株価及び売買高の推移



連結貸借対照表(要旨)

(単位：億円)

科目	当上半期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在	増減
(資産の部)			
流動資産	10,599	11,045	△ 446
現金預金	1,315	1,961	△ 646
受取手形・完成工事未収入金等	5,003	5,033	△ 30
有価証券	1,410	1,451	△ 41
販売用不動産	240	192	48
未成工事支出金	977	777	200
開発事業支出金	169	265	△ 95
PFI事業等たな卸資産	480	479	0
その他	1,009	892	117
貸倒引当金	△ 8	△ 8	0
固定資産	7,134	6,763	371
有形固定資産	2,778	2,657	120
無形固定資産	66	60	5
投資その他の資産	4,289	4,044	244
投資有価証券	4,092	3,871	221
その他	216	194	22
貸倒引当金	△ 20	△ 20	0
資産合計	17,733	17,809	△ 75

(資産の部)

有形固定資産の増加や、株式相場の上昇に伴う投資有価証券の増加があったものの、現金同等物（現金預金及び有価証券に含まれる譲渡性預金）の減少などにより、前期末に比べ75億円減少しました。

備考：金額の億円未満は、切捨て表示しております。

科目	当上半期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在	増減
(負債の部)			
流動負債	7,804	8,142	△ 338
支払手形・工事未払金等	2,759	3,774	△ 1,015
短期借入金	1,323	1,303	19
1年内返済予定のノンリコース借入金	64	64	0
1年内償還予定の社債	200	100	100
1年内償還予定のノンリコース社債	8	8	-
未払法人税等	194	208	△ 14
未成工事受入金	1,745	1,130	615
完成工事補償引当金	29	28	1
工事損失引当金	78	113	△ 35
独占禁止法関連損失引当金	20	20	-
その他	1,380	1,388	△ 8
固定負債	2,962	3,103	△ 140
社債	500	600	△ 100
転換社債型新株予約権付社債	300	300	△ 0
ノンリコース社債	136	140	△ 4
長期借入金	434	516	△ 82
ノンリコース借入金	314	347	△ 32
退職給付に係る負債	569	573	△ 4
その他	707	623	83
負債合計	10,766	11,246	△ 479
(純資産の部)			
株主資本	5,066	4,826	239
資本金	743	743	-
資本剰余金	431	431	-
利益剰余金	3,907	3,668	239
自己株式	△ 16	△ 16	△ 0
その他の包括利益累計額	1,846	1,681	164
非支配株主持分	53	54	△ 1
純資産合計	6,966	6,563	403
負債純資産合計	17,733	17,809	△ 75
1株当たり純資産額	881.15円	829.58円	

(負債の部)

未成工事受入金は増加したものの、支払手形・工事未払金等の減少などにより、前期末に比べ479億円減少しました。

(純資産の部)

親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加に加え、株式相場の上昇に伴うその他有価証券評価差額金（その他の包括利益累計額）の増加などにより、前期末に比べ403億円増加しました。

## 連結損益計算書 (要旨)

(単位：億円)

科 目	当上半期	前年同期	前年同期比
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	
売上高	7,296	6,850	6.5%
完成工事高	6,555	6,014	9.0%
開発事業等売上高	741	835	△11.3%
売上原価	6,401	5,968	
完成工事原価	5,750	5,238	
開発事業等売上原価	651	730	
売上総利益	894	881	1.5%
完成工事総利益	804	776	3.7%
開発事業等総利益	89	105	△14.7%
販売費及び一般管理費	401	381	
営業利益	<b>493</b>	<b>499</b>	△1.4%
営業外収益	43	46	
営業外費用	17	20	
経常利益	<b>519</b>	<b>526</b>	△1.3%
特別利益	32	61	
特別損失	0	0	
税金等調整前当期純利益	<b>551</b>	<b>587</b>	△6.1%
法人税等	185	205	
当期純利益	<b>365</b>	<b>382</b>	
非支配株主に帰属する当期純利益又は 非支配株主に帰属する当期純損失 (△)	0	△ 0	
親会社株主に帰属する当期純利益	<b>365</b>	<b>382</b>	△4.4%
<b>1株当たり当期純利益</b>	<b>46.60円</b>	<b>48.76円</b>	

売上高は、完成工事高の増加から、前年同期に比べ6.5%増加し7,296億円となりました。

経常利益は、完成工事高の増加により完成工事総利益は増加したものの、開発物件の売却利益の減少に伴い開発事業等総利益が減少したことなどから、前年同期に比べ1.3%減少し519億円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、特別利益が減少したことなどから、前年同期に比べ4.4%減少し365億円となりました。

## 連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：億円)

科 目	当上半期	前年同期	増 減
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	
現金及び現金同等物の期首残高	<b>3,411</b>	<b>3,158</b>	<b>253</b>
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 264	37	△ 301
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 178	△ 66	△ 111
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 231	△ 128	△ 103
その他の増減額	△ 11	△ 6	△ 5
現金及び現金同等物の増減額	△ <b>686</b>	△ <b>164</b>	△ <b>521</b>
現金及び現金同等物の上半期末残高	<b>2,725</b>	<b>2,993</b>	△ <b>267</b>

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益551億円を計上しましたが、仕入債務の減少などにより、264億円の資金減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、賃貸事業用資産の取得などにより178億円の資金減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払や借入金返済などにより231億円の資金減少となりました。

この結果、現金及び現金同等物の当上半期末の残高は、前期末に比べ686億円減少し2,725億円となりました。

## 当社単体

## 貸借対照表 (要旨)

(単位：億円)

科目	当上半期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在	増 減
(資産の部)			
流動資産	8,680	8,929	△ 248
現金預金	744	1,280	△ 535
受取手形	260	338	△ 78
完成工事未収入金	4,450	4,310	140
有価証券	1,410	1,450	△ 40
販売用不動産	16	16	△ 0
未成工事支出金	854	711	143
開発事業支出金	28	-	28
その他	922	829	93
貸倒引当金	△ 7	△ 7	0
固定資産	6,645	6,319	325
有形固定資産	2,257	2,158	99
無形固定資産	50	47	2
投資その他の資産	4,337	4,114	223
投資有価証券	4,219	3,988	231
その他	140	148	△ 7
貸倒引当金	△ 21	△ 21	0
資産合計	15,326	15,249	76

科目	当上半期末 平成30年9月30日現在	前期末 平成30年3月31日現在	増 減
(負債の部)			
流動負債	7,012	7,250	△ 238
支払手形	557	1,022	△ 464
工事未払金	1,805	2,274	△ 469
短期借入金	964	975	△ 10
1年内償還予定の社債	200	100	100
未成工事受入金	1,482	940	541
完成工事補償引当金	28	27	1
工事損失引当金	74	109	△ 34
独占禁止法関連連損失引当金	20	20	-
その他	1,878	1,781	97
固定負債	2,339	2,433	△ 94
社債	500	600	△ 100
転換社債型新株予約権付社債	300	300	△ 0
長期借入金	401	481	△ 80
退職給付引当金	440	437	3
その他	696	614	82
負債合計	9,351	9,684	△ 332
(純資産の部)			
株主資本	4,069	3,831	238
資本金	743	743	-
資本剰余金	431	431	-
利益剰余金	2,906	2,667	238
自己株式	△ 11	△ 11	△ 0
評価・換算差額等	1,904	1,733	171
純資産合計	5,974	5,564	409
負債純資産合計	15,326	15,249	76
1株当たり純資産額	760.17円	708.06円	

備考：金額の億円未満は、切捨て表示しております。

## 損益計算書 (要旨)

(単位：億円)

科 目	当上半期	前年同期	前年同期比
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	
売上高	6,145	5,696	7.9%
完成工事高	5,953	5,366	10.9%
開発事業等売上高	192	330	△41.8%
売上原価	5,393	4,936	
完成工事原価	5,238	4,684	
開発事業等売上原価	155	251	
売上総利益	751	760	△ 1.1%
完成工事総利益	715	681	5.0%
開発事業等総利益	36	79	△53.3%
販売費及び一般管理費	318	300	
営業利益	<b>433</b>	<b>459</b>	△ 5.7%
営業外収益	79	63	
営業外費用	14	16	
経常利益	<b>498</b>	<b>506</b>	△ 1.5%
特別利益	32	83	
特別損失	0	0	
税引前当期純利益	<b>531</b>	<b>590</b>	△ 10.0%
法人税等	167	188	
当期純利益	<b>364</b>	<b>401</b>	△ 9.4%

1株当たり当期純利益      46.32円   51.10円

### ■中間配当について

- 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき金13円   総額10,216百万円  
(うち特別配当金6円)
- 剰余金の配当が効力を生じる日  
平成30年12月3日

## 受注(契約)高・売上高・繰越高の内訳

(単位：億円)

区 分	前期繰越高	当上半期 受注(契約)高	当上半期 売上高	次期繰越高
	建設事業			
建 築	12,874	4,456	4,506	12,824
土 木	4,930	1,261	1,446	4,745
計	<b>17,804</b>	<b>5,718</b>	<b>5,953</b>	<b>17,569</b>
開発事業等	392	300	192	501
合 計	<b>18,197</b>	<b>6,018</b>	<b>6,145</b>	<b>18,070</b>

## 建設事業受注高の内訳

(単位：億円)

区 分	当上半期	前年同期	増 減
	平成30年4月1日から 平成30年9月30日まで	平成29年4月1日から 平成29年9月30日まで	
建 築			
国 内	4,220	4,599	△ 379
海 外	236	927	△ 690
計	<b>4,456</b>	<b>5,526</b>	△ 1,070
土 木			
国 内	1,146	1,298	△ 151
海 外	114	34	80
計	<b>1,261</b>	<b>1,332</b>	△ 71
合 計			
国 内	5,366	5,898	△ 531
海 外	351	961	△ 609
計	<b>5,718</b>	<b>6,859</b>	△ 1,141

[ご参考]

## シミズのものづくり

### せん の すけ 釧之助本店

水産の街である釧路に、北海道最大の水産会社である株式会社マルサ笹谷商店の商業施設と水族館などの複合施設「釧之助本店」が完成しました。シンボリックな曲線の大屋根と、外から屋内のにぎわいを感じられ、屋内からも外が見られるガラスカーテンウォールを持ち、エントランス中央の巨大水槽を

中心として、物販店舗、BBQコーナー、レストラン、水族館が配置されています。

「子どもたちに魚に触れ合う場を提供したい」というお客様の想いを実現すべく、ぎりぎりまで打合せを重ね、妥協せず、工事に取り組みました。

#### ■工事概要

所在地：北海道釧路町  
発注者：株式会社マルサ笹谷商店  
設計・監理：当社  
工期：2016年11月～2018年5月



エントランス中央にある円柱型巨大水槽（直径4m、高さ8m、厚さ12cm）



エントランスから1階物販店舗スペースを望む



2階レストラン



来場者を招き入れるシンボリックな曲線の大屋根

## お客様から



株式会社マルサ笹谷商店  
専務取締役  
笹谷 剛様

当社にとっても、これだけの規模の施設を建設するのは初めてのこと。しかも、水族館という未知の施設も含んでいました。打合せを重ね、細かいところまで要望を聞いていただき、御社とは良好な信頼関係の中で工事を進められたと思います。どこから見ても素晴らしい建物が完成しました。

北海道内、ひいては日本全国から人が集まる釧路の名所となるよう、しっかりと運営していきたいと思います。

## 設計者として貴重な経験



設計担当  
鈴木 淳

コンセプトは、「子どもたちに魚を好きになってもらいたい」。今回のプロジェクトでは、水槽から厨房機器、什器まで、すべて当社に任せていただきました。初めて経験することも多く、様々な検討を慎重に進め、設計者として貴重な経験を積むことができました。

お引き渡しは終わりましたが、施設がオープンし、軌道に乗って初めて、竣工を迎えると思っています。末永く来場者でにぎわう施設になることを祈っています。

## 円柱型巨大水槽の施工

工事長として管理した初めての現場でした。エントランス中央に直径4m、高さ8m、厚さ12cmの亚克力製の円柱型巨大水槽を設置。縦に4分割された部材を、天井の開口部から慎重に搬入し、水圧に耐えられるように精度高く組み立てました。

お客様にも評価していただき、大変嬉しく思っています。この難度が高いプロジェクトを無事にまとめ上げることができ、非常に良い経験となりました。



工事長  
田中 悦史

## なかなか携われないジャンルの建物の施工

当現場では、鉄骨工事を担当。協力会社との打合せから、計画立案、作業検討会での説明まで、自分が中心となり進める機会をもらいました。非常にやりがいを感じるとともに、仕事を任せ、我慢強く見守ってくれた上職者に感謝しています。

水族館が併設された建物という、なかなか携われない貴重な分野の建物を施工した経験を今後活かしていきたいと思っています。



施工担当  
田中 聡史

# トピックス

建設現場での働き方改革に一役

## 新大阪で建設中の高層ホテルの一部をロボットが施工！

生産年齢人口の減少が進む中、建設業においては生産性向上と担い手確保が喫緊の課題となっています。その解決策の一つとして、当社では、建物の3次元モデルBIM\*と連携し、AI（人工知能）を搭載した自律型ロボットが、人と協働する新時代建築生産システム「シミズ・スマート・サイト」を開発。新大阪で施工中の高層ホテルの工事現場で稼働を始めました。

同システムの適用現場では、施工中の建物の頂部を全天候型軽量屋根「全天候カバー」で覆い、世界初の水平伸縮型クレーン「Exter」が資材の引き揚げを担います。この高層ホテルの現場では、幅30m、

奥行き40m、高さ40mの全天候カバーを架設。現在、その中で稼働しているのは、資材の水平搬送ロボット「Robo-Carrier」、鉄骨柱溶接ロボット「Robo-Welder」です。今年12月からは、内装の多能工ロボット「Robo-Buddy」が稼働します。

当社は、同システムを来年から首都圏の大規模現場を中心に水平展開していくとともに、ロボットの適用工種の拡大を図るため、今後もロボット開発を推進してまいります。

※BIM：Building Information Modeling



天井ボード（約1 t）を搬送するRobo-Carrier（水平搬送ロボット）



溶接中のRobo-Welder（鉄骨柱溶接ロボット）

karaksa hotel grande  
Shin-Osaka Towerの  
施工中の様子（パース）

ベトナムの枯葉剤汚染土壌を無害化へ

## ベトナム政府と共同で枯葉剤汚染土壌浄化の実証実験に着手

ベトナム国内には、ベトナム戦争時に米軍が散布した枯葉剤に由来するダイオキシン汚染土壌が多く残され、28カ所の高濃度汚染エリアが存在します。深刻な健康被害が社会問題となる中、ベトナム政府は、2030年度までに全土の土壌浄化を完了する目標を掲げており、現在、ベトナム国防省が土壌浄化に向けた適用技術の選定作業を進めています。

中でも、戦時中に大量の枯葉剤が備蓄されていたビエンホア空港には、約85万tに及ぶ同国最大規模のダイオキシン汚染土壌が存在すると推測されています。同空港の土壌浄化に向けた技術選定プロセスの一環として、当社はダイオキシン汚染土壌浄化の実証実験をCTET\*と共同で実施。実証実験は、同空港内に実規模の土壌洗浄プラントを設置し、2019年1月中旬から約3カ月半にわたり、ダイオキシン除去率95%を目標に行う計画です。

土壌洗浄プラントでは、敷地内で掘削したダイオキシン汚染土壌に水を混ぜて泥状にし、粒子の大きさごとにふるいにかけて、粒子の大きさに合わせて水洗いやこすり洗い、気泡で汚染物質を分離除去する処理などを行います。約7割を浄化土として再利用し、残りの約3割を焼却処理します。そのため、すべてを焼却処理する場合に比べ1/2程度のコストで土壌浄化を実現できます。

実証実験を通じて、当社土壌洗浄プラントによる洗浄処理の有効性とコスト優位性を確認し、ビエン

ホア空港での土壌浄化事業への技術適用、事業参画を目指すとともに、ベトナム以外のアジアにも視野を広げ、汚染土壌問題の解決に貢献したいと考えております。

※CTET：Center for Technology of Environment Treatmentの略。  
ベトナム国防省傘下の環境関連の研究機関



9月4日、首都ハノイで行われたベトナム政府との洗浄実証実験の覚書締結式



ビエンホア空港内に設置する実規模の土壌洗浄プラント（イメージ）

# トピックス

ものづくりの楽しさや建設の面白さを伝える

## シミズ・オープン・アカデミーが開講10周年、延べ受講者5万人突破

2008年9月に社会貢献活動の一環として開講して以来、直接見て、触れて、感じて、という体験を通して、ものづくりの楽しさや建設の面白さ・奥深さを受講者に伝えてきたシミズ・オープン・アカデミー。今秋、開講10周年を迎え、受講者も延べ5万人を突破しました。

シミズ・オープン・アカデミーでは、幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけるよう、「ものづくりの現場から」や「夏休み高校生セミナー」をはじめとするセミナー、テクニカルツアー、各種見学イベント等から

構成される多彩なプログラムを公開講座として継続的に提供しています。今年6月には、多様な企業の芸術文化の振興活動を顕彰する「THIS IS MECENAT 2018」の認定を受け、文化活動としても評価されました。今後は、AIやIoTを取り入れた最新の技術等をプログラムに盛り込むなど、引き続き、建設の魅力等を多くの方々に伝えるため取り組んでまいります。



シミズ・オープン・アカデミーは、公益社団法人企業メセナ協議会より「THIS IS MECENAT 2018」の認定を受けています。



セミナー・シンポジウム開催の様子。大学生・一般の方を対象に、社内外から専門の講師を招いて最先端の技術やものづくりについて講義



テクニカルツアーの様子。技術研究所の施設見学と講義で構成される小学5年生以上の学生団体向けプログラム

### 「シミズさんをさがせ!」をリリース

2018年8月3日、コーポレートサイトに、中高生向け当社紹介サイト「シミズさんをさがせ!」をリリースしました。仮想の街で働く当社従業員（シミズさん）をクリックすると、しごと内容が表示され、当社の事業や技術が分かるようになっています。

シミズさんをさがせ!  
<https://www.shimzu.co.jp/shimizusan/>

## 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会オフィシャルサポーター契約を締結 ～「施設建設・土木」カテゴリースポンサーに決定～



施設建設・土木

2018年10月、当社は、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京2020）と東京2020スポンサーシッププログラムのカテゴリー「施設建設・土木」における「東京2020オフィシャルサポーター」契約を締結しました。

当社は1804年の創業から210年以上にわたり、ものづくりへの真摯な姿勢と絶えざる革新志向を以て建設事業に取り組み、広く施設建設と土木事業に携わってまいりました。オリンピック関連では、東京1964オリンピック競技大会に際しては国立代々木競技場第一体育館と湘南港（江の島ヨットハーバー）を建設し、東京2020大会に向けては、有明体操競技場の建設を担当し、競技基盤の整備に注力しているところです。

また当社は、経営の基本理念である「論語と算盤」とコーポレートメッセージ「子どもたちに誇れるしごとを。」の考え方に沿って、すべての人が生き生きと働き、輝くことのできる「インクルーシブな社会の実現」を目指しています。これを目的として、障がい者支援や障がい者スポーツに精通したボランティアの養成イベントを主催・協賛しています。

当社は「子どもたちに誇れる東京2020を。」をコミュニケーションメッセージに設定し、「施設建設・土木」カテゴリーのオフィシャルサポーターとして、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に貢献してまいります。

# 株主情報

## 「株主さま向けアンケート」の結果のご報告

第116期期末配当関係書類（2018年6月に発送）に同封いたしました「株主さま向けアンケート」にご協力を賜り、誠にありがとうございました。頂きましたご意見につきましては、今後の経営とIR活動の参考にさせていただきます。一部ではございますが、以下にアンケート結果をご報告させていただきます。

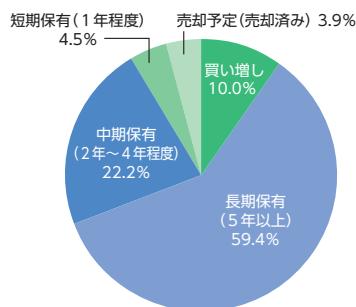
調査対象：全株主54,891名  
回答者数：14,100名  
回答率：25.7%

### ①保有株数



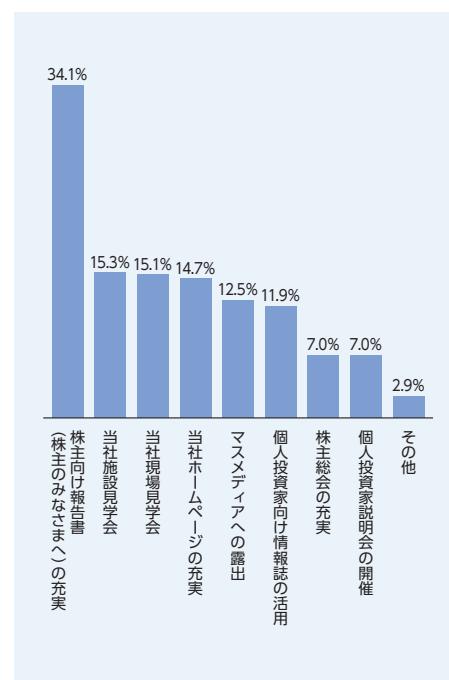
1,000株以上保有されている方が、65.1%となっております。

### ②当社株式の今後の保有方針



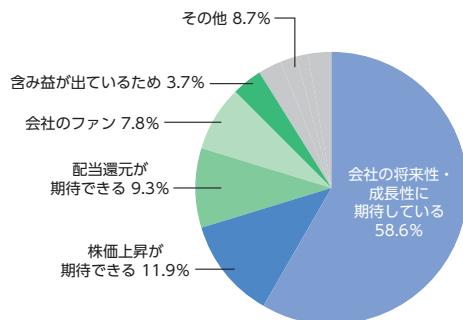
「長期保有（5年以上）」、「中期保有（2年～4年程度）」と「買い増し」を合計すると91.6%を占めました。

### ④今後のIR活動への期待（複数回答）



「株主向け報告書（株主のみなさまへ）の充実」が34.1%、次いで、「当社施設見学会」、「当社現場見学会」、「当社ホームページの充実」が続きました。

### ③今後の保有方針を選択した理由



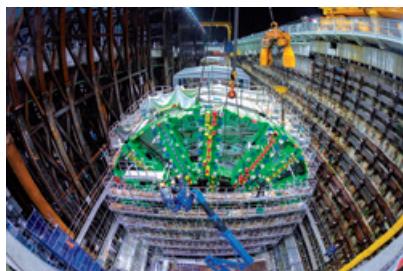
「会社の将来性・成長性に期待している」が58.6%を占め、次いで、「株値上昇が期待できる」、「配当還元が期待できる」が続きました。

## 個人株主さま向けIRイベント開催のご報告

2018年10月13日(土)、当社初となる個人株主の皆様を対象とした現場見学会を「東京外かく環状道路 本線トンネル(南行)大泉南工事」作業所(東京都練馬区大泉町)にて開催しました。当日は、トンネルを掘削する国内最大級直径16.1mのシールドマシンの見学の他、現場の状況を3Dで再現したVR(ヴァーチャリアリティ)を体験していただきました。

参加された株主の皆様からは「シールドマシンの迫りに圧倒された」、「現場のスケールの大きさに感動した」、「VRが建設現場の安全教育に活用されていることが興味深かった」との声を頂戴し、当社及び建設業へのご理解を深めていただく良い機会となりました。

今後も継続して個人株主の皆様を対象としたイベントを実施してまいります。



ご見学いただいたシールドマシン  
(2018年7月時点。写真は「東京外環プロジェクト」ウェブサイトより引用)



現場全景  
(写真は「東京外環プロジェクト」ウェブサイトより引用)



VR体験の様子

## 株主優待について

2019年3月期の株主優待は、株主の皆様が木製グッズの受領(保有株式数に応じた株主優待メニューより1点)又は社会貢献活動団体への寄付からお選びいただける選択制を導入いたします。お申込み手続きは、2019年5月上旬頃、申込書を対象株主の皆様にお送りする予定です。

### <2019年3月期の株主優待>

保有株式数	優待内容(木製グッズか寄付いずれかご選択)		
	木製グッズ		寄付
1,000株以上 5,000株未満	① 干支柄コースター(2個) ※5,000株以上10,000株未満の株主様は3個、 10,000株以上の株主様は4個贈呈		⑦ 社会貢献活動団体 への寄付 1,000円  寄付先： 一般財団法人 清水育英会
5,000株以上 10,000株未満	② 自立式まな板	③ ペンメモスタンド	
10,000株以上	④ 置き時計	⑤ スマートフォン スピーカー ⑥ トレイ	

1,000株以上5,000株未満保有の株主様  
5,000株以上10,000株未満保有の株主様  
10,000株以上保有の株主様

木製グッズ①の贈呈又は⑦寄付より選択  
木製グッズ①～③の3点から1点の贈呈又は⑦寄付より選択  
木製グッズ①～⑥の6点から1点の贈呈又は⑦寄付より選択

## コーポレートサイトのご案内



当社コーポレートサイトでは、「株主・投資家情報」をはじめ、様々な情報を掲載しております。ぜひ、ご覧ください。

<https://www.shimz.co.jp/>



表紙写真

熊谷ラグビー場新スタンド (埼玉県熊谷市)

設計・監理/株式会社松田平田設計 (基本設計・実施設計・監理)

株式会社松田平田設計 当社 (実施設計 (構造))

## 株主メモ

### 事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

### 定時株主総会

6月

### 基準日

定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
中間配当金	9月30日

### 株主名簿管理人

#### 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

### 同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日綱町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

### 公告掲載方法

電子公告  
公告掲載URL (<https://www.shimz.co.jp/>)  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

### 株式に関する各種手続きについて

- 株主様の住所変更、单元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、お取引の証券会社にお問合せください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行 (上記連絡先) にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 清水建設株式会社

〒104-8370 東京都中央区京橋二丁目16番1号

TEL 03-3561-1111 (大代表)

<https://www.shimz.co.jp/>

**UD FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

